

第114回 定時株主総会

2024年6月25日 (火)



議決権数のご報告

報告事項

- 第114期 事業報告、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査委員会の連結計算書類監査結果の報告の件
- 第114期 計算書類の内容の報告の件

「招集ご通知」15～41ページをご参照ください

2023年度の当社の取組み

現状分析

第7次中期経営計画

経営目標
(当初)

2025年度末までに株主資本コストを上回る**ROE5%**



2023年度のROEは **5.73%**

- 経営目標を想定よりも2年前倒して達成
- 株価も上昇基調であり、PBRは1倍近辺、株主総利回りもTOPIXを有意に上回る水準で推移

当社が目指す経営の長期的展望

長期的な経営の方向性

今後とも、我が国唯一の証券金融会社として証券・金融市場の参加者の取引ニーズに機動的かつ柔軟に対応し、市場の発展に貢献することを通じて、高い財務の健全性維持のもとで持続的な成長・企業価値向上に向けて、グループ企業の総力を結集して取り組む。

- **ROE：8%の水準を意識しながら、今後その着実な向上に向けて取り組んでいく。**
- **株主還元：第7次中期経営計画の期間においては総還元性向100%を継続、その後も株主還元の充実に努めていく。**
- **PBR：1倍超の市場評価の定着を目指す。**
- **コーポレートガバナンス：取締役会・各委員会審議の実効性の一層の向上や情報開示の更なる充実、厚みのある人的資本の形成に注力しつつサステナビリティ課題にも取り組み、一層の強化に努めていく。**

第7次中期経営計画

経営目標

● 経営目標の上方修正

ROE

安定的に**5%を上回る水準**を維持するとともに、さらなる向上を目指す

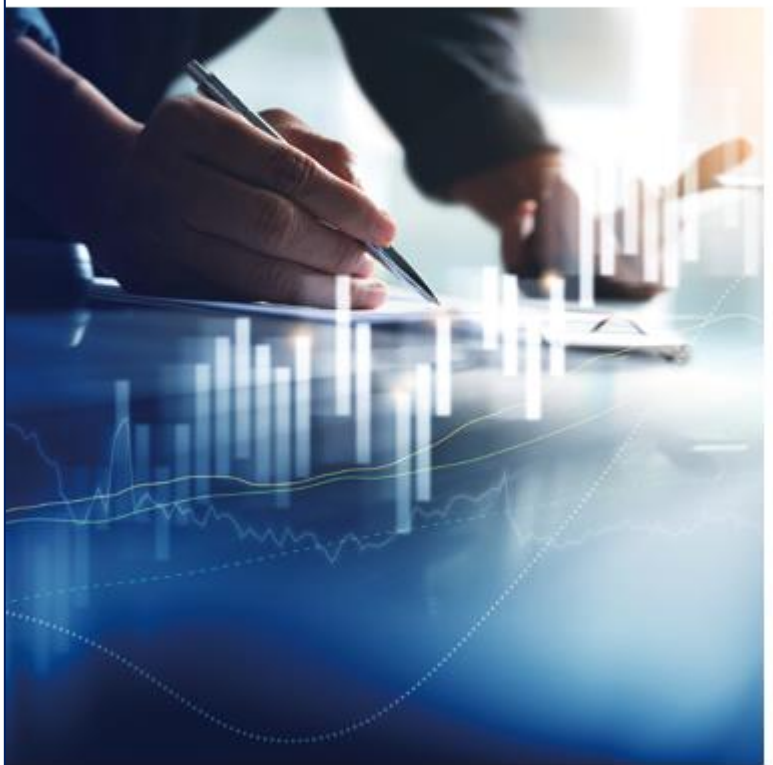
連結
経常利益

安定的に**100億円超**を維持するとともに、さらなる向上を目指す

情報開示の充実

統合報告書の改訂

日本証券金融株式会社 2023 統合報告書



コーポレート戦略

00 人材育強の強化とエンゲージメントの向上

経営者メッセージ

従業員一人ひとりの成長を支援することにより 企業活力と継続実力の向上につなげていきます

当社は、お客さまと共生の価値創造を軸とした事業活動を通じて、社会に貢献し、株主さまの価値向上に努めています。そのためには、従業員一人ひとりの成長を支援し、企業活力と継続実力の向上につなげていくことが重要です。このため、従業員一人ひとりの成長を支援し、企業活力と継続実力の向上につなげていくことが重要です。このため、従業員一人ひとりの成長を支援し、企業活力と継続実力の向上につなげていくことが重要です。

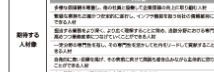


取締役 人事部長 佐藤 隆

人材育強の強化について

人材育強の強化は、企業成長の原動力であり、社会に貢献するための重要な取り組みです。当社は、人材育強の強化を推進し、従業員一人ひとりの成長を支援し、企業活力と継続実力の向上につなげていくことが重要です。

人材育強の強化は、企業成長の原動力であり、社会に貢献するための重要な取り組みです。当社は、人材育強の強化を推進し、従業員一人ひとりの成長を支援し、企業活力と継続実力の向上につなげていくことが重要です。



34 日本証券金融株式会社 統合報告書 2023

コーポレート戦略

01 貸借取引を核とした セキュリティ・ファイナンス業務

経営者メッセージ

国内外の証券・金融界の多様な取引ニーズに対応し、成長を実現してまいります

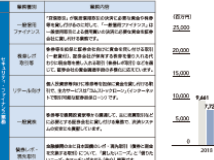
金融市場のグローバル化に伴い、国内外の証券・金融界の多様な取引ニーズに対応し、成長を実現してまいります。当社は、国内外の証券・金融界の多様な取引ニーズに対応し、成長を実現してまいります。当社は、国内外の証券・金融界の多様な取引ニーズに対応し、成長を実現してまいります。



取締役 取締役 取締役 下山田 啓司

セキュリティ・ファイナンス業務

貸借取引を核としたセキュリティ・ファイナンス業務の成長実績



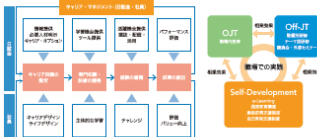
ビジネスに活用する取り組み

- 1. 課題
・業務効率化、顧客満足度向上、業務のデジタル化による多様な人材の活用
- 2. 課題
・業務効率化、顧客満足度向上、業務のデジタル化による多様な人材の活用
- 3. 課題
・業務効率化、顧客満足度向上、業務のデジタル化による多様な人材の活用
- 4. 課題
・業務効率化、顧客満足度向上、業務のデジタル化による多様な人材の活用

人材育強の強化について

- ・デジタルスキル向上プログラムの実施
- ・キャリア開発プログラムの実施
- ・英語力向上プログラムの実施
- ・自己啓発プログラムの実施

人材育強の強化



日本証券金融株式会社 統合報告書 2023 35

中期経営計画の戦略と取り組み

強化ポイント

中期経営計画の戦略と取り組みについて。当社は、中期経営計画に基づき、デジタル化を推進し、成長を実現してまいります。当社は、中期経営計画に基づき、デジタル化を推進し、成長を実現してまいります。

トピックス

中期経営計画の戦略と取り組みについて。当社は、中期経営計画に基づき、デジタル化を推進し、成長を実現してまいります。当社は、中期経営計画に基づき、デジタル化を推進し、成長を実現してまいります。

サステナビリティ課題への取り組み

分散型台帳技術を用いたセキュリティ・ファイナンス取引に関する実証研究

当社と東京大学は、2021年4月以降、レポ取引や証券貸借取引において、**分散型台帳技術の活用**により、トークン化した有価証券や担保の円滑な取引が可能かについて検証する実証研究を共同で実施し、2023年5月30日にその成果を報告書として公表。



分散型台帳技術を用いたセキュリティ
ファイナンス取引に関する実証研究

2023年5月30日

日本証券金融株式会社
国立大学法人東京大学大学院
工学系研究科田中研究室

サステナビリティ課題への取組み

インドネシア証券界との国際協力関係

インドネシア証券金融会社への技術協力および出資による「海外の証券・金融市場インフラへの貢献・支援活動」にも継続して取組む。



財務ハイライト

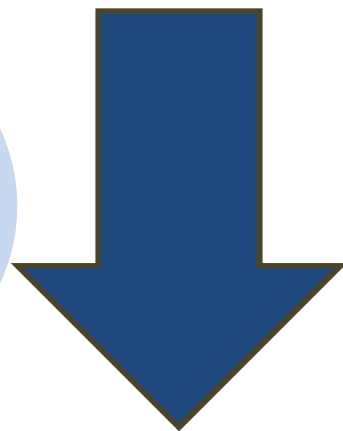
(単位：百万円)

	第114期	前期比 増減率
営業収益	50,008	17.6%
営業費用	32,615	13.4%
一般管理費	7,463	0.9%
営業利益	9,928	56.2%
経常利益	11,024	45.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	8,030	34.6%

対処すべき課題

- ROE5%目標を想定よりも2年前倒しで達成
- 経営努力が一定の成果を挙げ、節目を迎えたと認識

● 経営に関する
考え方を改めて整理



● 取締役会に
おいて累次の
議論

「当社が目指す経営の長期的展望」
(2023年11月6日策定・公表)

当社が目指す経営の長期的展望

当社の目指す将来像

証券・金融市場のインフラ機能を支える我が国唯一の証券金融会社として、証券・金融市場の発展に貢献することを通じて、高い財務の健全性維持のもとで持続的な成長・企業価値の向上を実現する、機動性・柔軟性に富んだ特色あるユニークな企業を目指す。

当社が目指す経営の長期的展望

コーポレート・メッセージ

Be unique. Be a pioneer.

唯一をつくる、開拓者であれ。

金融テクノロジーの進化や国際化など、不断に変化する環境の中で、国内と海外を橋渡ししながら証券・金融市場の参加者の取引ニーズに機動的かつ柔軟に対応する特色あるユニークな企業として、市場に貢献することを通じて未来を開拓していく、当社の在りたい姿を表したメッセージ。

当社が目指す経営の長期的展望

長期的な経営の方向性

今後とも、我が国唯一の証券金融会社として証券・金融市場の参加者の取引ニーズに機動的かつ柔軟に対応し、市場の発展に貢献することを通じて、高い財務の健全性維持のもとで持続的な成長・企業価値向上に向けて、グループ企業の総力を結集して取り組む。

- **ROE：8%の水準を意識**しながら、今後もその**着実な向上**に向けて取り組んでいく。
- **株主還元**：第7次中期経営計画の期間においては**総還元性向100%**を継続、その後も株主還元の充実に努めていく。
- **PBR：1倍超の市場評価の定着を目指す。**
- **コーポレートガバナンス**：取締役会・各委員会審議の**実効性の一層の向上**や**情報開示の更なる充実、厚みのある人的資本の形成**に注力しつつ**サステナビリティ課題にも取り組み**、一層の強化に努めていく。

第7次中期経営計画の経営目標の上方修正

ROE

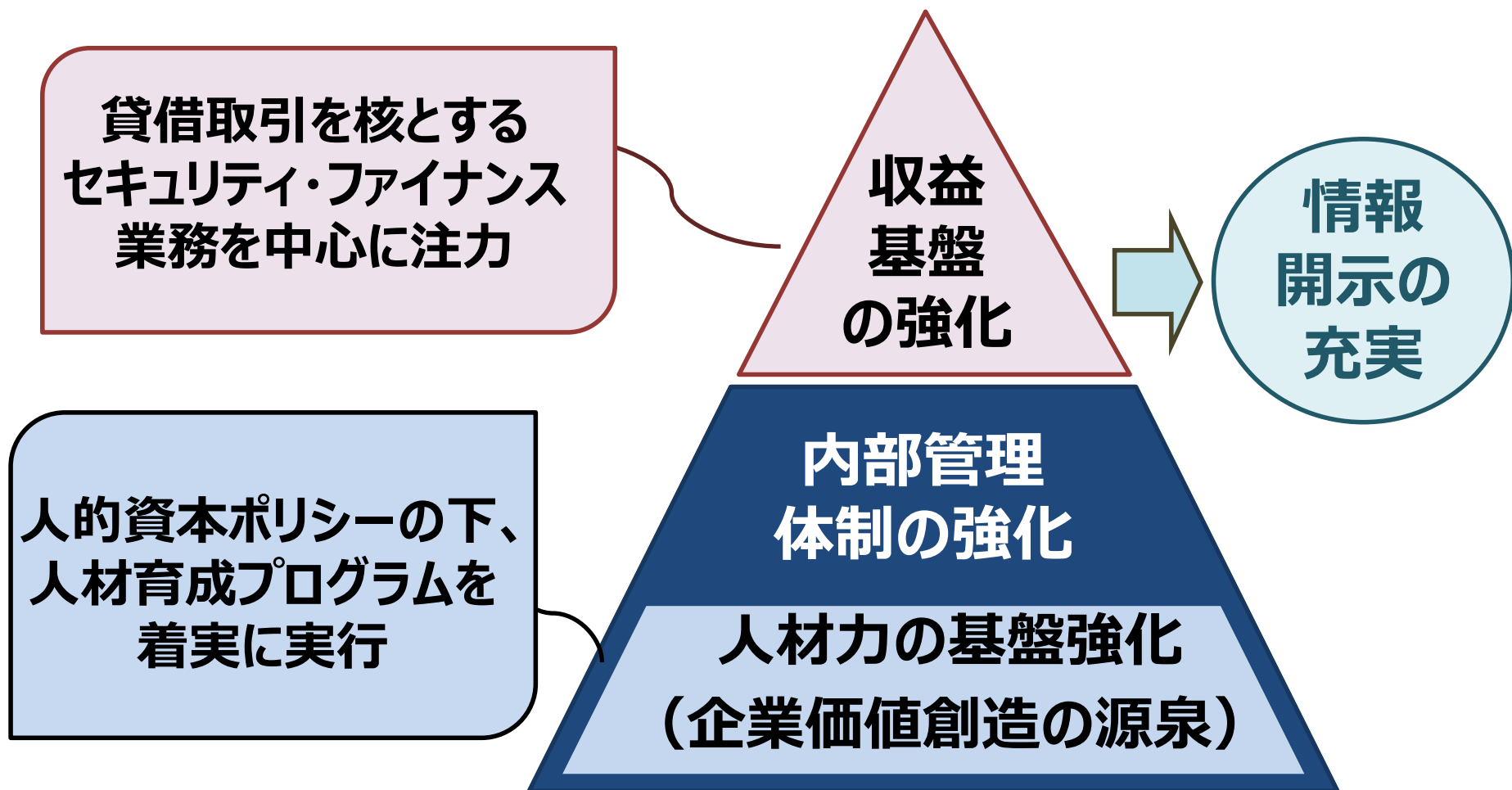
安定的に**5%を上回る水準**を維持するとともに、さらなる向上を目指す

連結
経常利益

安定的に**100億円超**を維持するとともに、さらなる向上を目指す

今後の取組み

第7次中期経営計画における今後の取組み



第7次中期経営計画期間中の株主還元方針

配当と機動的な自己株式取得により
累計で総還元性向100%を目指す

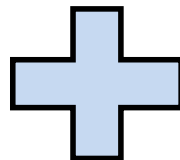
配当性向70%を目安に
積極的な配当を実施

株主還元

株主還元（2024年度）

配当

普通	64円
特別	6円
年間	<u>70円</u>



自己株式取得
[取得枠]

170万株
26億円

証券・金融市場のインフラ機能を支える我が国
唯一の証券金融会社として、証券・金融市場の
発展に貢献することを通じて、高い財務の健全
性維持のもとで持続的な成長・企業価値の向
上を実現する、機動性・柔軟性に富んだ特色あ
るユニークな企業を目指してまいります。

株主をはじめとするステークホルダーの皆様には、
当社の取組みについてご理解・ご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

決議事項

議案

取締役7名選任の件

- | | |
|----------|---------|
| ① 小幡 尚孝 | ⑤ 江上 節子 |
| ② 杉野 翔子 | ⑥ 櫛田 誠希 |
| ③ 二子石 謙輔 | ⑦ 福島 賢二 |
| ④ 山川 隆義 | |

「招集ご通知」6～14ページをご参照ください

質疑応答

決議

議案

取締役7名選任の件

**株主各位のご協力に対し、
厚くお礼申し上げます。**

**本日は、ご来場頂きまして
誠にありがとうございました。**

